国土交通省東北地方整備局
Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記　者　発　表

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

令 和 ３ 年 ５ 月 ３ １ 日
国土交通省東北地方整備局
福 島 河 川 国 道 事 務 所

阿武隈川上流　流域治水シンポジウムを開催

～　水害から命を守るために　～

〇福島県・阿武隈川は東日本台風により甚大な被害を被りました。この台風は過去類を見ない強力な勢力でしたが、気候変動によりこのような台風・洪水の頻発化・激甚化が懸念されています。
〇気候変動下において命を守るためには、これまでの治水対策だけではなく、まちづくりや避難の工夫を含めた流域全体での対策、流域治水が必要であり、これからのあり方を考えるため、６月２０日（日）に有識者を招きシンポジウムを開催いたします。

１．日　時：令和３年６月２０日（日）１４時００分～１６時００分
２．会　場：こむこむ館（わいわいホール）（福島市）
３．内　容：基調講演「気候変動下における流域治水の必要性について」
　　「気候変動下における世界」
　　パネルディスカッション「阿武隈川 流域治水の推進に向けて」
４．参加費：無料
５．定　員：約１００名（事前予約制・申込み先着順、どなたでもご参加できます）
　　別紙チラシにより事前参加申込を受け付けております。
６．主　催：阿武隈川上流流域治水協議会
　　共　催：阿武隈川上流　大規模氾濫時の減災対策協議会
　　一般社団法人　東北地域づくり協会
　　一般社団法人　福島県建設業協会
７．その他：本シンポジウムは、土木学会CPDプログラム及び全国土木施工管理技士会連合会CPDSプログラムの認定講習です。
　　当日の気象情報等により、内容が変更となる場合があります。

＜＜発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、郡山市記者クラブ＞＞

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　福島河川国道事務所
福島県福島市黒岩字榎平３６　　TEL　０２４（５４６）４３３１（代）
調査第一課長　川面（かわつら）　顕彦（あきひこ）　（内線３５１）

令和元年東日本台風（郡山市）

水害から命を守るために

台風第19号は、また今年来るかもしれない

入場無料
事前参加申込みが必要です。

阿武隈川上流 流域治水シンポジウム

日時 令和3年 6月 20日(日)
14:00～16:00(開場13:30)

会場 福島市：こむこむ館　わいわいホール
〒960-8044 福島県福島市早稲町 1-1　TEL 024-524-3131

聴講 会場での聴講は事前申込（裏面）
Youtube リアルタイム配信

MAP



基調講演①

気候変動下における流域治水の必要性について



東北大学 教授　風間（かざま）　聡（そう） 氏

基調講演②

気候変動下における世界



気象予報士　土井（どい）　邦裕（くにひろ） 氏

パネルディスカッション

阿武隈川流域治水の推進に向けて

コーディネーター：日本大学 名誉教授　長林 久夫 氏

スピーカー：
- 福島市長　木幡 浩 氏
- 東北大学 教授　風間 聡 氏
- 郡山中央工業団地会会長　小川 則雄 氏
- 気象予報士　土井 邦裕 氏
- 国土交通省 福島河川国道事務所 事務所長　福島 陽介 氏
- 須賀川市長　橋本 克也 氏
- 福島大学 教授　川越 清樹 氏
- 福島県建設業協会 副会長　淺沼 秀俊 氏
- 東京海上日動火災保険㈱　佐藤 健司 氏

※スピーカーは変更になる場合があります

【開催趣旨】

まだ記憶に新しい令和元年、福島県・阿武隈川は東日本台風により甚大な被害を被りました。この台風は過去類を見ない強大な勢力でしたが、地球規模の気候変動により、同等の台風・洪水の頻発化・激甚化が懸念されています。気候変動下において命を守るためには、これまでの治水対策だけではなく、まちづくりや避難の工夫を含めた、流域全体での対策、流域治水が必要であり、これからのあり方を考えるシンポジウムを開催します。

主催：阿武隈川上流流域治水協議会

共 催：阿武隈川上流 大規模氾濫時の減災対策協議会
一般社団法人 東北地域づくり協会　一般社団法人 福島県建設業協会

お問い合わせ　福島河川国道事務所
受付時間 8：30～17：15(土日祝を除く)　TEL 024-539-6127　FAX 024-539-5381

阿武隈川上流　流域治水シンポジウム

時間	次第／出演
13:30	開場・受付
14:00	開　会
14:05	基調講演①　気候変動下における流域治水の必要性について
14:20	基調講演②　気候変動下における世界
14:35	会場準備
14:45	パネルディスカッション　阿武隈川流域治水の推進に向けて
16:00	閉　会

木幡 浩（福島市長）：パネルディスカッション（スピーカー）
- 東京大学経済学部卒業。昭和59年に自治省（現総務省）に入省。その後、復興庁福島復興局長等を歴任し、平成29年から福島市長に就任（1期目）。
- 東日本台風では、福島市においても濁川の決壊や内水等により甚大な被害。これを教訓に、危機管理をはじめまちづくりも含めた部局横断の水害対策パッケージにより、総合的な治水対策に取り組む。

長林 久夫（日本大学 名誉教授）：パネルディスカッション（コーディネーター）
- 日本大学大学院工学研究科修士課程を修了し、同名誉教授（水理学）に至る。阿武隈川水系河川整備員会委員長やリバーカウンセラー（阿武隈川）も務める。
- 河川や湖沼、沿岸域における水域環境の保全と防災のために、課題の調査・実験・分析を通じて対処法を提案する研究を行っている。

川越 清樹（福島大学 教授）：パネルディスカッション（スピーカー）
- 東北大学大学院環境科学研究科博士課程を修了し、福島大学共生システム理工学類教授に至る。また、阿武隈川水系整備員会委員やリバーカウンセラー（阿武隈川）も務める。
- 気候変動等により顕在化する「水環境問題」について、健全な自然環境の維持・保全と、社会活動の共存を図るための取組について研究する。

小川 則雄（郡山中央工業団地会 会長）：パネルディスカッション（スピーカー）
- 郡山中央工業団地会長。また、郡山自動車学校代表取締役や郡山市商工会議所常議員を務める。
- 東日本台風では、郡山中央工業団地においても、阿武隈川の越水や谷田川の決壊等によって甚大な被害。団地内の各企業においても自助努力として、水防壁の設置やBCP（業務継続計画）の策定等を行っている。

佐藤 健司（東京海上日動火災保険㈱）：パネルディスカッション（スピーカー）
- 東京海上日動火災保険株式会社　公務開発部次長。2021年3月までの2年弱程、国土交通省都市局に在籍。
- 「お客様や地域社会の“いざ”をお守りする」を企業の存在意義とし、お客様のニーズや社会環境の変化に対応した商品・サービスの提供を通じて、災害後のあんしんのみならず、事前のあんしんをお届けする活動を行っている。

橋本 克也（須賀川市長）：パネルディスカッション（スピーカー）
- 駒沢大学法学部法律学科卒業。平成7年から福島県議会議員を4期務め、平成20年から須賀川市長に就任。（4期目）
- 東日本台風では、須賀川市においても釈迦堂川の氾濫や内水等で甚大な被害。これらも踏まえ、立地適正化計画等のまちづくりの見直しや、田んぼダム等の治水対策に取り組む。

風間 聡（東北大学 教授）：基調講演・パネルディスカッション（スピーカー）
- 東北大学大学院工学研究科土木専攻博士課程を修了し、同教授（水文学）に至る。最上川流域委員会委員長や鳴瀬川水系河川整備学識者懇談会副座長を務める。
- 気候変動に備えた適応策として、将来気候モデルの結果を利用して、将来の洪水リスクや土砂災害リスクを研究し、地域に応じた災害適応策について研究する。

土井 邦裕（気象予報士）：基調講演・パネルディスカッション（スピーカー）
- 去年まではKFB福島放送の気象キャスターを務め、現在はNHK名古屋放送局の気象キャスターとして活躍。
- 直感的に分かる天気予報に定評があり、また、防災士として災害に対する啓発等にも務める。東日本台風の際も、住民に避難等を呼びかけた。

浅沼 秀俊（福島県建設業協会 副会長）：パネルディスカッション（スピーカー）
- 福島県建設業協会 副会長。また、三立土建株式会社 代表取締役を務める。
- 東日本台風では、福島県建設業協会会員を取りまとめ、応急対応や災害復旧に尽力し、早期復旧に貢献した。また、阿武隈川の河川災害を未然に防ぐため、河川巡視にも協力している。

福島 陽介（福島河川国道事務所長）：パネルディスカッション（スピーカー）
- 平成18年国土交通省入省。水管理国土保全局治水課企画専門官（前職）を経て、令和2年7月より現職。現在、令和元年東日本台風による被災を踏まえた阿武隈川の「令和の大改修」を進めるとともに、激甚化・頻発化する水害に備え、まちづくり等も一体となった阿武隈川流域全体での「流域治水」を目指す。前職では、令和元年東日本台風への対応や流域治水の制度設計を担当。

新型コロナウイルス感染症の予防対策を行い実施いたします。今後の感染状況により、参加者数を制限するなど、規模を縮小して実施する場合があります。詳細、中止の連絡等は、ホームページにてお知らせいたします。

主催：阿武隈川上流流域治水協議会

福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、田村市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、鏡石町、天栄村、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、三春町、福島県、農林水産省、林野庁、森林整備センター、福島地方気象台、国土交通省福島河川国道事務所、摺上川ダム管理所、三春ダム管理所

共催：阿武隈川上流 大規模氾濫時の減災対策協議会、一般社団法人 福島県建設業協会、
一般社団法人 東北地域づくり協会　※本事業は、(一社) 東北地域づくり協会みちのく国づくり支援事業の助成を受けています

この講演会は CPD 並びに CPDS 認定講習です

※CPDS 学習履歴申請希望者は、CPDS 技術者証等を持参して下さい

※WEBでの聴講については、申し込み頂く必要有りません。会場での聴講をご希望頂く方には、新着順とさせていただきます。定員に達した際は福島河川国道事務所HPでご紹介すると共に、その後申込頂いた方にはご連絡差し上げます。またWEB聴講ではCPD並びにCPDSは認定されません。

聴講申込

福島河川国道事務所（委託：大清プロダクション）
受付時間 10：00～17：00（土日祝を除く）　TEL 024-576-6650
FAX 024-576-6686　E-mail : abukuma@taisei-pro.net

当日配信用QR

事前参加申込書　※必要事項をご記入の上、FAX または E-mail でお申し込みください。

氏　名		所　属（勤務先）		継続学習制度	CPD or CPDS ※希望する場合に○
住　所	県		市・町・村　TEL.	－	－

※住所は、市町村までご記入ください。

※「個人情報の取扱いについて」ご記入いただいた事項は、シンポジウムの申込受付業務を目的として使用します。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染疑いが生じた場合に、保健所への情報提供に限り使用します。他の目的ではご本人の同意なく第三者に提供をいたしません。適切な保護措置を講じ、厳重に管理致します。